

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	20
科目コード 00231	科目名 服装造形	授業期間	前期 ・ 後期

担当教員(代表)： 清藤 ひろみ	共同担当者： 長島 早苗
------------------	--------------

教育目標・レベル設定など

- ・各課題作品の製作を通してアパレル生産プロセス（企画・設計・生産）を学ばせる
- ・作図、パターンメイキング、縫製技術を高めるとともにデザイン、素材、ファッショントレンドなども取り入れ総合的に習得させる
- ・立体的裁断からパターン技術の習得をさせる
- ・3年間で学んだ理論と実技の集大成として作品を研究創作させ、卒業制作ショーで発表する

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

服装造形 論 III A・III B	前期2単位	後期2単位
服装造形 デザイン III A・III B	前期1単位	後期1単位
服装造形 パターンメイキング III A・III B	前期2単位	後期2単位
服装造形 ソーイング III A・III B	前期2単位	後期2単位
服装造形 ドレーピング II A・II B	前期2単位	後期2単位
服装造形 工業用パターンメイキング II A・II B	前期1単位	後期1単位
1 皮革作品	42コマ (前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
2 スーツ	46コマ (前期)	デザイン・パターン・実物制作・レポート
3 グレーディング	6コマ (前期)	ジャケット パンツ
4 量産技術実習	14コマ (前期)	デザイン・パターン・トワル制作(グループ制作)
5 バザー作品	26コマ (前期・後期)	文化祭バザー作品(グループ制作)
6 コート	45コマ (後期)	デザイン・パターン・部分縫い・実物制作・レポート
7 高級素材作品	5コマ (後期)	デザイン・パターン・部分縫い・実物制作・レポート
8 学内コンテスト技術部門課題制作	30コマ (後期)	トワル作品制作
9 モードコピー	19コマ (後期)	トワル制作
10 ドレーピング	42コマ (前期・後期)	原型・袖のバリエーション・3面ジャケット・4面ジャケット・コート ドレープ・トワリスト(使用ボディ：工業用ボディ・1/2ボディ)
11 特別講義(キャリア教育)	4コマ (前期)	就職対策講座

評価方法・対象・比重

- ・服装造形 論・筆記試験 ・デザイン、パターンメイキング、ソーイング・・制作物
- ・ドレーピング、工業用パターンメイキング・・提出物、実技試験 ・専攻科卒業研究・創作・・制作物

主要教材図書 服飾造形講座 応用編Ⅰ・Ⅱ コート・ケープ グレーディング
アパレル生産講座 工業パターンメイキング

参考図書 ファッションブック

その他資料 プリント(デザイン・作図)

記載者書名欄 清藤 ひろみ

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	2
科目コード 08020	科目名 量産技術実習 II	授業期間	後期（集中）

担当教員（代表）：上野 和博	共同担当者：渡井 邦重、加藤 紀人、佐藤 明彦
----------------	-------------------------

教育目標・レベル設定など アパレル生産プロセスに基づき、企画した製品が生産されるまでの組織的な生産活動を体験することを目標とする。 グループを会社組織として分業体制で設立し、品質（Q）・コスト（C）・納期（D）を実現させながら、メーカー側の製品企画・工場側の製造企画に始まり、生産活動を通して「モノ」「情報」の流れを掴む。また、前期の履修した「生産システム論」の内容を踏まえ、「モノづくり」のための「コトづくり」の重要性を認識させる。
--

授業概要＝テーマ（大・中・小項目）、方法（講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など）、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 I. 顔合わせ（1コマ） ① 担当教員紹介 ② タイムテーブルの確認 ③ デザイン、仕様、トワル、パターンチェック II. 工業用パターン作成（1コマ） ① フルパターン作成（表・裏・芯・スレキ） ② ゲージパターン作成 III. サンプル裁断（1コマ） ① サンプル見積もりマーキング ② サンプル裁断 IV. サンプル縫製（3コマ） ① 役割毎にサンプルを縫製 ② サンプルの確認および検査（検査基準書作成） V. 帳票類作成（3コマ） ① 工程分析表、縫製仕様書、加工裁断芯貼り指図書、作業標準書、表紙作成 ② 作業割り当て、座席表作成 VI. マーキング実習（1コマ） ① CADを使用したマーキング実習（東レ Crea Compo使用） ② 最終の見積もりを算出 ③ 裁断用下紙準備 VII. 裁断実習（2コマ） ① 裁断実習（自動裁断機使用） ② 芯貼り、仕分け、縫製準備 VIII. ミーティング（1コマ） ① 帳票類を読み合わせ、縫製前の打ち合わせをおこなう IX. 縫製（14コマ） ① 帳票類に基づき学生主導による生産をおこなう ② 縫製技術や検査方法、進捗の指導 X. まとめ（1コマ） ① 製品検査 ② 最終原価計算

評価方法・対象・比重 出席状況、製品により評価

主要教材図書
参考図書
その他資料 重衣料マニュアル（研究室用）

記載者書名欄 上野 和博

科コード	11823	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード	42300	科目名	生産システム論	授業期間	前期

担当教員(代表)：上野 和博	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレルメーカーから生産工場までの全体の流れを捉えと共に、生産活動に必要な事柄について学ぶことを目標とする。企画から製造にいたるプロセスで様々な個々の技術が全体の目的に貢献できるよう、工程・方法・時間・人などが関連性を持ちながら、生産効率の向上が図れる仕組みづくりを掴む。また、後期履修する「量産技術実習Ⅱ」につながる情報の基盤づくりとする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、

他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I. ガイダンス (1コマ)

II. アパレル商品企画 (2コマ)

- ①. 品質レベルの設定
- ②. 品質のつくり込み(作業標準書)

III. アパレル品質管理 (2コマ)

- ①. 製造中の検査方法(検査箇所)
- ②. 製造後の検査方法(外観検査)
- ③. PL 法対策

IV. アパレル製品と原価 (1コマ)

- ①. 原価の三要素(材料費、労務費、経費)のあらまし
- ②. 損益分岐点と目標利益
- ③. 目標生産量の算出

V. 生産計画 (5コマ)

- ①. 日程計画(タイムテーブル、標準時間の算出)
- ②. 人員計画(作業割り当て)
- ③. ライン計画(工程編成)
- ④. 材料計画(日程、数量、コスト、品質)

VI. 生産用パターン (2コマ)

- ①. 仕様・機器に対応した変更
- ②. 表地、裏地、芯地、ゲージ類について

評価方法・対象・比重

出席率・提出物(4割)＋筆記試験(6割)

主要教材図書

ファッション大系「アパレル生産管理」「工業用ミシンとアイロンの基本操作と知識」

参考図書

その他資料

演習課題(私製)

記載者書名欄 上野 和博

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	服飾専攻科技術専攻	単 位	2 単位
科目コード	43110	科目名	CADパターンメイキングⅠ	授業期間	通年（ ）

担当教員(代表)：高津 由規子	共同担当者：
-----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル業界の企画【設計】において必須であるCADシステムを利用し、基本を学びながら
 考え方・手法・方法・管理の理解を深めつつCAD操作が出来るようになる。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション・基本操作	16	応用パターンメイキングVer. 1-3 製品図OP
2	基礎パターンメイキングVer. 1-1 スカート展開	17	応用パターンメイキングVer. 1-4 縫製仕様書
3	基礎パターンメイキングVer. 1-2 スカート展開	18	応用パターンメイキングVer. 2-1 パンツ
4	基礎パターンメイキングVer. 1-3 製品図の書き方	19	応用パターンメイキングVer. 2-2 パンツ
5	基礎パターンメイキングVer. 2-1 パターン入力の仕方	20	応用パターンメイキングVer. 2-3 製品図
6	基礎パターンメイキングVer. 2-2 パターン入力	21	応用パターンメイキングVer. 3-1 ジャケット衿
7	基礎パターンメイキングVer. 2-3 製品図	22	応用パターンメイキングVer. 3-2 ジャケット
8	オリジナルパターン1 パターン入力	23	応用パターンメイキングVer. 3-3 ジャケット袖
9	オリジナルパターン2 トレース	24	応用パターンメイキングVer. 4-1 プリーツ
10	オリジナルパターン3 修正～完成	25	応用パターンメイキングVer. 4-2 製品図
11	オリジナルパターン4 パターン利用の製品図	26	グレーディング方法・仕方
12	オリジナルパターン5 縫製仕様書	27	実技試験対策
13	オリジナルパターン6 マーキング方法	28	実技試験
14	応用パターンメイキングVer. 1-1 ワンピース	29	
15	応用パターンメイキングVer. 1-2 ワンピース	30	

評価方法・対象・比重 前期はテストを行わず、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価 後期は実技テストを行うと共に、授業内でのプリント提出・授業態度・出欠席・配布プリントのまとめ方で評価
--

主要教材図書	文化ファッション大系 アパレル生産講座⑥ CADパターンメイキング 文化服装学院編
参考図書	特になし
その他資料	特になし

記載者氏名

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード 49050	科目名 テクニック特論	授業期間	通年

担当教員(代表)：清藤 ひろみ	共同担当者：長島 早苗
-----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

- ・服飾関連の幅広い分野の専門家による講義とテクニクの技術示範を受講し、各自の知識を広げ技術の向上をさせる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・ アパレルメーカーに於ける
パターンメーカーの役割(伊藤 智之 氏) 講義・示範・・・4コマ
パターン操作と実技指導
企業でのパターンメーカーの仕事について
アイロン操作によるくせとり、立体感の出し方を示範説明
二枚袖の考え方
- ・ 立体裁断による身頃つづきの袖(樋口 吉徳 氏) 講義・示範・・・2コマ
立体と平面の併用パターンテクニック
- ・ 毛皮の一般知識(梨本 チエ子 氏) 講義・示範・・・2コマ
毛皮の種類、良否の見分け方など豊富な原毛に触れ、作品製作の導入とする
毛皮のくせとり、縫製テクニックを示範説明
- ・ イタリアに於ける縫製技術(牧 勝則 氏) 講義・示範・・・3コマ
毛芯仕立てのジャケットの縫製テクニックを示範説明
- ・ パターンメイキングテクニック(稲荷田 征 氏) 講義・示範・実習・・・3コマ
アパレル企業でのパターンメイキング、アイロン操作、ミシン操作のテクニックを示範説明

評価方法・対象・比重

出席状況

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

記載者書名欄 清藤 ひろみ

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	服飾専攻科技術専攻	単 位	1 単位
科目コード	41900	科目名	西洋服装史特論	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）：菊田 琢也	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

20 世紀以降のファッションがどのような思想、社会状況、隣接する文化領域との関連のなかで発展し、歴史を紡いでいったのかについて考察する。その際に、衣服制作を支える裁断・縫製・素材といった技術の発達史および産業史にも留意する。また、各回ごとに現在のファッション現象と照合して見ていくことを通じて、歴史が現在と地続きであることへの気づきを促し、現状と今後について考える手段と姿勢を養う。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	イントロダクション：歴史を学ぶとは	16	
2	オートクチュールの誕生とデザイナーの自立	17	
3	身体の再発見：ポール・ポワレとマドレーヌ・ヴィオネ	18	
4	ファッション・デザインとモダニズム：ガブリエル・シャネル	19	
5	アートとファッションの交流：エルザ・スキャパレリからマーク・ジェイコブスまで	20	
6	ファッションと流行：クリスチャン・ディオール	21	
7	若者の時代：スペース・エイジとスウィング・ロンドン	22	
8	ファッションと既製服：ブレタボルテと日本人デザイナー	23	
9	路上からランウェイへ：ヴィヴィアン・ウエストウッドの仕事	24	
10	ジャパニーズ・アヴァンギャルド・ファッション：三宅一生、山本耀司、川久保玲	25	
11	アンドロジナスな身体：クラブカルチャーとその周辺	26	
12	アントワープ・ファッション：ファッションにおける歴史性と革新性	27	
13	ミニマリズムとは何か：ジル・サンダー、ミウッチャ・プラダ、ヘルムート・ラング	28	
14	身体的美醜：アレキサンダー・マックイーン、ジョン・ガリアーノ	29	
15	「マイクロ・ポップ」な創造者たち：周縁化する現在のファッション・シーンについて	30	

評価方法・対象・比重

出席、授業態度を重視する。学期末にレポートを提出してもらい、最終的な評価を判断する。

主要教材図書

毎回、プリントを配布する。

参考図書 文化服装学院編『服飾関連専門講座⑩ 改訂版・西洋服装史（文化ファッション体系）』文化出版局 2012、成実弘至『20 世紀ファッションの文化史』河出書房新社 2007、ブリュノ・デュ・ロゼル（西村愛子訳）『20 世紀モード史』平凡社 1995 他

その他資料

記載者氏名

科コード	11823	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1 単位
科目コード	20110	科目名	アパレル染色演習 I	授業期間	半期（後期）

担当教員（代表）： 篠原 幸子	共同担当者： 伊藤 望
-----------------	-------------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

テキスタイル染色に関する基礎的な知識、技法を各種実験・実習を通じて得ることにより、アパレルにおける新たなデザイン発想と可能性を広げる。さらに、染色・加工の観点からテキスタイルについて理解を深める事を目標とする。

1. 縮絨加工 （2コマ） ・羊毛の縮絨性につて （講義）
 ・繊維を生地にする（原毛からのフェルト制作） （実習）
 ・ニードルパンチの応用 （実習）
2. 染色概論 （1コマ） ・主な染料の種類と染色性、染色の仕組み、染色条件について （講義）
3. 絞り染 （2コマ） ・絞り加工による服飾素材づくり （講義・実習）
4. 捺染加工 （6コマ） ・捺染の種類、染料と顔料の違いについて （講義）
 ・顔料樹脂染料、反応性染料プリント （実習）
5. 乾式熱転写プリント（1コマ） ・分散染料による乾式転写の原理および技法について （講義・実習）
6. マーブルング（1コマ） ・インクによるマーブル模様表現につて （講義・実習）
7. 天然素材 （1コマ） ・天然素材と化学合成染料の違いについて （講義）
 ・天然染料の特性について

評価方法・対象・比重

各実験・実習ごとの作品、レポートによる総合評価

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座 3. アパレル染色論

参考図書

その他資料

記載者氏名 篠原 幸子

科コード	11823	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード	60500	科目名	テキスタイル産業論	授業期間	後期

担当教員(代表)：小笠原 宏	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など

1. 服地の基本的な知識を知る。アパレルで使用されている服地100種程度
2. 新しく開発し注目されている素材や複合素材の紹介（加工素材も含む）
3. 編物（ニット・ジャージ）の編地や服地を知る
4. 現在業界で行われているテキスタイルの生産工程と流通を知る
5. ファッション情報とテキスタイルの商品企画の進め方を知る

1. 服地の基本的な知識を知る
 - ・布帛・ジャージ・レースなど布地の名前をマスターする。
 - ・100種程度・使用目的・素材（服地の特性）
 - ・（繊維から糸・織物までの復習を含む）
2. 複合素材（新しく開発された複合素材）
 - ・複合繊維（コンジュケートヤーンと異形断面と側面改良繊維）
 - ・糸の複合化 ・加工による複合化素材（サンプルにて）
 - ◎複合素材の服地（混紡・混織・交燃・交織・交編）と後加工による服地
3. 編物（ニット）の服地（50種のジャージサンプルで説明）
 - ◎編物の基本組織（経編・緯編）
 - ・織物と編物の違いと特性
 - ・編物の基本組織と変化編組織
 - ◎天竺編組織のジャージの服地の特性と用途
 - ◎ダブル編ジャージの服の特性と用途
 - ◎経編ジャージの服地の特性と用途
 - ◎ニットやジャージの問題点
4. 服地の生産と流通（企画～生産）
 - ◎服地の生産（布帛・ジャージ）先染・後染
 - その他の加工による生産のスケジュール
 - ◎デザイナー・商品企画者のためのスケジュール進行表の作成の仕方
 - ◎服地の流通
 - ・川上～川下（問屋・商社の流通の現在）
 - ・メーカー別（服地）の生産とタイムスケジュール
 - ・（原系メーカー ・ 機屋 ・ ニッター ・ コンバーター）
5. テキスタイルの新しい情報（新しい服地の感性とは）
 - ◎国内・海外の新しいテキスタイルの方向
 - ◎ファブルケーションの配色。
 - ・特にニットやジャージの配色の大切な所（ニットの配色の問題点）
6. 服地のデザインの進行の仕方
 - ◎デザインの発想
 - ◎海外の素材・デザインの情報
 - ◎アパレル側との素材情報の取り組み方と素材企画の進め方
7. 先染柄作成（課題）提出物
 - ・平織組織又は綾織組織（4～5色）
 - 色鉛筆で1mm方眼紙で作成する
8. 素材テスト

評価方法・対象・比重

素材テスト・出席日数・授業態度・作品（提出物）の内容の総合点

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料

各講義のテキスト及びサンプルは＜講師作成＞の物を使用する

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード 71500	科目名 ピ ン ワ ー ク	授業期間	後 期

担当教員(代表): 多田 園江

共同担当者:

教育目標・レベル設定など

布地を中心としたピンワークの基礎技術の習得。一枚の布から立体を製作し布の動き、流れを理解して造型感覚を高める。さらに繰り返し練習する事で色彩、形、素材への拘りや美に対する意識や感受性を養い新たな服造への発想へとつなげる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

I. ピンワークについての概要－①テキスト、資料等でピンワーク概要を説明(講義)

②ビデオでディスプレイの現場紹介(レース展示会、クリスマス実施作業現場ほか)

③ピンワーク基本技術(示範と実習)

ボディを使用して 布の扱い方、ピンの扱い方の実習 (2)

II. ピンワークの基礎技術－①アンビエ、ドゥブルビエ

ボディを使用して ひだのとり方、ピンの打ち方の師範と実習(4)

②ドレープ

マネキンの扱い方

マネキンを使用してバイアスドレープの師範と実習 (1)

③ギャザリング

マネキンを使用してギャザーの寄せ方とリズム感、ボリューム感表現の師範と実習(1)

④タッキング

美しいしわづけの方法とより立体的な布の造形を製作 示範と実習 (2)

⑤ウール、チュールなどいろいろな素材の扱いと空間構成の基本実習 (2)

III 異素材による自由創作－①布以外の素材を使用して「ブライダル」をテーマに応用創作

発想から、デザイン、準備、製作と組み立てる事もポイント(2)

(紙、ビニール、網…etc)

評価方法・対象・比重

実習、を通しての作品評価(個人又はグループ)

授業態度、出欠状況も含める

主要教材図書 文化ファッション大系ファッション流通講座⑧ディスプレイ・VP・VMD
文化服装学院編

参考図書 テーマによって関連資料を紹介

その他資料 テーマによって関連資料を紹介

記載者書名欄

多田 園江

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード	61100	科目名	ファッションマーケティング	授業期間	前期

担当教員(代表)：波多野 辰美	共同担当者：
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル業界に於けるマーケティング業務の実務を講義と演習により指導し、ファッションマーケティングの基礎知識を習得させる。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ ファッションマーケティングの概要 (講義) コマ数＝7

アパレルのマーケティングに必要な理論と方法を解説する

- ・マーケティング業務オリエンテーション
- ・ファッションマーケットの現状と問題点
- ・ブランドとは、その定義
- ・アパレルブランド構築の方法論
- ・VMDの必要性とSKU算出法の解説と実践
- ・カセット企画とは
- ・MDマップの意味と作成方法

テーマ ファッションマーケティングの実践 (講義、グループ演習) コマ数＝7

マーケットで「売るため」のブランド企画のシミュレーション

各グループで既存のブランドの企画を企業と同様の手順で行う

- ・ターゲット設定と分析
- ・コンセプト設定
- ・イメージマップ作成
- ・スタイリングマップ作成
- ・MDマップ作成
- ・プレゼンテーション

評価方法・対象・比重

課題レポート、シミュレーションの完成度、出席日数

主要教材図書

レジュメ使用

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	技術専攻科 3 年	単 位	1
科目コード	34000	科目名	帽 子	授業期間	前期

担当教員(代表)： 太田 泉	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など 帽子の一般常識と帽子に対する知識を深め、服飾に於ける帽子の位置づけを理解させる トータルイメージを表現する力を養い、作品製作を通して帽子のイメージや服とのバランス感覚などを把握
--

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、 テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先 I. オリエンテーション 講義 2コマ ・ 帽子の形の種類、素材、木型、用具など専門性の説明 ・ 夏物帽子(夏物帽体)のデザイン相談 II. 実物制作 2点 (1) 夏物帽子(夏物帽体) 講義、演習 6コマ 麻・水草繊維等、天然繊維の専門素材による実物製作 木型など専門用具の使用法、型入れによる形づくりを指導 (2) 冬物帽子(フェルト帽体) 講義、演習 6コマ ウールフェルト・ファーフェルト等、帽子用フェルト帽体による実物製作 木型、スチームボイラーを用いて、蒸気によるデザイン別成型方法を指導

評価方法・対象・比重 作品：授業姿勢 8：2

主要教材図書 文化ファッション大系 ファッション工芸講座1 帽子 基礎編
参考図書 各種帽子写真集など
その他資料 コスチューム資料室標本

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード	31000	科目名	アクセサリー（選択）	授業期間	前期

担当教員(代表)：中川清美	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

アクセサリーは服を引き立たせるための小道具である。アンティークや新しい素材を幅広く取りこみ、オリジナリティの高い作品、アートアクセサリーの制作、そして服作りのヒントにと意識している。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

1. アートアクセサリー鑑賞レクチャー
参考作品の素材説明とアイディア提案
2. アートアクセサリー制作実習
樹脂の扱い方・アメリカンフラワーの扱い方・中川作品鑑賞
3. アートアクセサリー制作実習
アクリル絵の具・助剤について 塗料を使って金属の腐食した感じを出す方法
4. アートアクセサリー制作実習
仕上げ
5. アンティークジュエリー鑑賞
ヨーロッパを中心に 19C 中頃から 50 年代のジュエリーの細工について
ジュエリーの諸知識について
6. シルバー粘土について、特性・扱い方の説明
制作実習
7. シルバー粘土制作実習
応用作品について仕上げ

評価方法・対象・比重
作品提出・英字評価

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄

2015年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11823	科 名	技術専攻（選択）	単 位	単位
科目コード	51130	科目名	ファッションデザイン画Ⅲ	授業期間	半期（前期）

担当教員（代表） 岡本あずさ	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）

各自のデザインを設定し、半期の中での展開を考える。発想（イメージ）をより具体的に表現できる実力を身につける。相手に対して、伝えるためのプレゼンテーションの方法、アプローチする方法を常に考えながら表現し作品制作を進めていくことを目標とする

コマ	内 容	コマ	内 容
1	↑ 画材研究	16	
2	マーカー パステルテクニック	17	
3	オリエンテーション	18	
4	↓	19	
5	↑ テーマからのデザイン発想（A）	20	
6	各自デザインテーマ コンセプトを設定し	21	
7	そのテーマを軸として デザイン表現	22	
8	展開をしていく	23	
9	↓	24	
10	↑ テーマからのデザイン表現（バリエーション）	25	
11	a オリジナルテキスタイル b サブテーマ（自由）	26	
12	c アイテムデザインの中から1つを選択	27	
13	プラスのテーマとして（A）に取り入れ	28	
14	↓ 更にバリエーションとして考える	29	
15		30	

評価方法・対象・比重

提出課題を中心とし、その作品、出席状況及び授業態度による総合評価

主要教材図書

参考図書

その他資料 各分野での展示会カタログやアーティストの本、卒業生の参考作品等

記載者氏名 岡本あずさ

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	1
科目コード 98130	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：清藤 ひろみ	共同担当者：長島 早苗
-----------------	-------------

教育目標・レベル設定など

- ・服飾関連の幅広い分野から専門家による講義を受講し、各自の知識を広げさせる
- ・職業意識や職域を広げ、就職内定につなげさせる

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、

- ・衣料用皮革の一般知識(長谷川 脩 氏) 講義・・・2コマ
衣料皮革とレザーアパレルの企画生産
- ・ファッション情報(講師検討中) 講義・・・2コマ
トレンド解説・パリ・ミラノ・東京
- ・就職実践対策(佐古 かがり 氏) 講義・・・2コマ
ユニフォームウェアを通し職種の幅を広げる
- ・パタンナーの役割(高野 美奈子氏) 講義・・・2コマ
企業におけるパタンナーの仕事
- ・布・色と形の知識(中川 清美 氏) 講義・・・2コマ
布・色と形の知識
- ・工業ニット(升崎登美子氏/田才由美子氏) 講義・実習・・・4コマ
ニット機器の操作法、Tシャツ制作

評価方法・対象・比重

出席状況

主要教材図書

なし

参考図書

なし

その他資料

なし

記載者書名欄 清藤 ひろみ

科コード 11823	科 名 服飾専攻科 技術専攻	単 位	5
科目コード 97910	科目名 専攻科卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表)： 清藤 ひろみ	共同担当者： 長島 早苗
------------------	--------------

教育目標・レベル設定など

- ・3年間で学んだ理論と技術の集大成としての作品を研究創作させる
- ・実物製作を通して研究する力を養い、卒業制作ショーで発表する

■卒業制作【実物製作】講義・示範・実習・・・68コマ

- ・既習の理論と技術（ドレーピング、パターンメイキング、縫製法）を駆使し、専攻科として最終的まとめとなる作品を研究・創作
- ・企画、演出、照明、音効、舞台、会場等の役割を分担し、卒業制作ショーに構成して発表

デザイン・・・各自発想のデザイン（技術専攻科に相応しい）でアイテムは自由

素 材・・・自由とするが、技術専攻科に相応しい布地

縫 製・・・各自のデザイン、布地に合わせた縫製法

レポート・・・3年間の集大成として、研究的にまとめる

※各自のデザインで1体以上を実物製作し、レポートを書く

評価方法・対象・比重

提出作品（実物製作のデザイン、パターンメイキング、縫製、レポート）

主要教材図書 文化ファッション体系 服飾造形講座 応用編Ⅰ・Ⅱ

参考図書 ファッションブック

その他資料 プリント（デザイン・作図）

記載者書名欄 清藤 ひろみ